



# 片中だより 5月号

発行・編集:吹田市立片山中学校  
令和6年(2024年)4月26日 発行

～自ら学び 自ら考え 自らつながる片中生の育成を目指して～

〒564-0835 大阪府吹田市竹谷町35-1 TEL:06-6387-1041 <http://www2.suita.ed.jp/school/jhs/06-katayama>

## あいさつを大切に

校長

令和6年度がスタートし、1か月が過ぎようとしています。美しく咲いていた桜は、早くも散ってしまいましたが、今は、校内のあちらこちらに植えられているツツジが咲き始め、白や薄紫、ピンクの花が、新緑に彩りを添えています。入学式で少し緊張した様子を見せていた1年生も、ようやく慣れてきたようで、休み時間には、元気に遊ぶ姿が見えてきました。クラブでは、1年生の入部もあり、2年生3年生が、上級生としての頼もしい姿を見せてくれています。5月を目の前に、片中生のみなさんは、とても活気あふれる学校生活を過ごしているようです。

さて、始業式にもお話ししましたが、ここ片中で大切にしていることの一つに『あいさつ』があります。「おはようございます」、「こんにちは」といったあいさつは、単なる儀式的なもの、礼儀的なものではありません。人と人が会ったときに初めにかわす言葉ですから、家で言うなら玄関のようなもの。玄関先でつまづいているようでは、この後の人間関係にかかわってくる・・・それが『あいさつ』です。

『おはよう』の語源は「朝、お早くからご苦労様です」、「こんにちは」は「今日は、ご機嫌いかがですか」を短くした言葉だと言われています。たった、4文字や5文字の言葉ですが、その中に相手を思いやる気持ちや相手をうかがう気持ちが含まれているんですね。みなさんも、ぜひ、「今日もよろしく」「一日仲よくしよう」といった気持ちを込めて、あいさつを交わすといいかもしれません。関係がうまくいってないときやそう感じたときこそ、まずは、あいさつを心がけるようにしましょう。

仏教の言葉に『和顔愛語(わがんあいご・わげんあいご)』という言葉があります。『和顔』とは、和やかで優しい『笑顔』のことで、『愛語』とは、愛を持った『優しい言葉』のことを言います。『笑顔』、『やさしい言葉』は、人間関係を円滑にしてくれる必須アイテムです。そして、『愛語』の中で、一番大切なもので、一番簡単にできるのがあいさつです。『和顔愛語』を心がけ、笑顔でさわやかなあいさつができる片中生になってください。



明日からゴールデンウィークが始まります。楽しい計画を立てている人もいるかもしれませんが、新学期をスタートしてからの疲れもあると思いますので、安全に健康に、規則正しい生活を送ってほしいと思います。



## 片中の様子

### ● 4月8日 入学式・始業式を実施しました。

令和6年度の入学式を実施しました。新入生は、保護者や来賓の方々、教職員に見守られ、希望と期待を胸に、中学校生活をスタートさせました。入学式終了後、各教室をリモートでつなぎ、始業式を実施しました。



### ● 4月12日 離任式を実施しました。

今年度、片中を去られた先生方をお招きし、離任式を実施しました。リモートで  
お一人お一人からご挨拶していただきました。職員室前や教室前でも、別れを惜  
しむ姿が見られました。先生方、お元気で。新天地でのご活躍をお祈りしています。

### ● 4月18日 全国学力・学習状況調査



全国学力・学習状況調査が実施され、国語、数学  
の調査に片中の3年生が臨みました。生徒質問紙は、  
16日に、パソコンを用いて実施しました。



お知らせ

※ご案内はすでに配付しております。

紙面のみの

掲載とさせていただきます。